

牛になる子牛の一大産地のため、和牛輸出が増えれば恩恵がある可能性はある。ただ、現在、全国の和牛生産は農家の高齢化や福島第1原発事故による東北産地への被害などで国内需要すら満たせていない。輸出増以前に、国内の生産基盤立て直しが急務だ。

■豚肉 高価格帯10年で撤廃

低価格帯で関税を大幅に引き下げ、高価格帯は10年目以降に撤廃。ハムやベーコン、ソーセージなど加工品の関税も撤廃され、海外メーカーの商品が小売店や外食で

増える可能性もある。十勝の養豚農家は30戸ほどに既に集約され、さらにダメージがあれば、十勝産豚肉の豚井などがさらに希少になる可能性もある。

■鶏肉 ブラジル含まず 影響少ない公算

11年目に関税撤廃。全輸入量44.2万トン中、TPP参加国からは2.5万トン。輸入の半数以上を占めるブラジルが含まれず、大きな影響はないとの見方もあるが、TPP参加国から輸入がどの程度増えるかは未知数となっている。

TPP十勝への影響は？ 酪農編

2015年10月22日

競争力低下で生産力減退か

■ホエー 廃棄発生の可能性

十勝農産（酪農） に 関する TPPの主な関税撤廃・削減品目		
品 目	現 行	撤廃・削減内容
ホエー	25%または35% +マークアップ	タンパク質含有量が 25%未満は16年目までに撤廃 25～45%は21年目までに撤廃 45%以上は6年目までに撤廃
チェダー、 ゴータチーズ	29.8%	16年目で撤廃
粉チーズ	26.3%または40%	16年目で撤廃
クリーム チーズ	29.8%	脂肪分 45%未満は16年目に撤廃 45%以上は即時10%削減
モッツァレラ カマンベール	29.8%	現状維持
バター・ 脱脂粉乳	—	新輸入枠を生乳換算で 13.7万トン設定
PEF	関税割当（枠内 1万8977トン）内25%	輸入枠の拡大はせず 枠内関税を21年目までに撤廃

「断固反対だった時と大きく違うのは、関税ゼロ（撤廃）でないこと。ホエー（の自由化）は（交渉の）テーブルには乗らないことになった」

昨年末の衆院選時、中川郁子衆院議員はこう述べてい

た。だが、実際の環太平洋連携協定（TPP）大筋合意の内容では、ホエーの関税はセーフガード（緊急輸入制限）はあるものの撤廃となる。

ホエーはチーズ製造時に出る副産物で、脱脂粉乳の代わりや菓子など加工食品の原料として使われる。

十勝の生乳はチーズ製造に向けられる量が多く、明治（芽室、帯広）、雪印メグミルク（大樹）、よつ葉乳業（音更）など大手工場で大量のホエーが出る。輸入で安く入れば国内のホエーは廃棄せざるを得ず、処理費用がチーズ価格に上乗せされ、競争力が低下する可能性がある。

合意内容では脱脂粉乳と競合する可能性が高いタンパク質含量25～45%については21年目、25%未満は16年目までと農水省は「長期の撤廃期間を確保した」とする。

しかし、最終的に脱脂粉乳の代替として輸入ホエーが使われるようになれば、乳価の低下など生産現場に影響を及ぼし、十勝、北海道は対応を迫られる。

■チーズ「抱き合わせ」維持

十勝でも生産が多いチェダー、ゴータチーズは現行29.8%の関税を16年目に撤廃する。人気の欧州産はTPPでは含まれないが、ワインなどと相性が良く、消費が

増えているこれらのチーズの国内での増産に冷や水となりそうだ。

ただ、スライスチーズなどプロセスチーズ原料となるチェダー、ゴータは、輸入に一定の国産を混ぜる「抱き合わせ制度」を維持し、農水省は「急激な需要減少を回避した」と説明する。十勝でもプロセスチーズ原料は多く作られており、実際の影響がどうなるか注目される。

粉チーズも16年目に関税を撤廃。輸入が多くを占めるものの国産粉チーズ原料は道内でも製造されているため影響が出る可能性もある。十勝でも大手メーカーが生産するカマンベール、さけるチーズなどのモッツァレラの他、プロセスチーズは関税が維持される。

■バター・脱脂粉乳 不足解消も

バターや脱脂粉乳は関税削減や撤廃は行わず、国が輸出入を管理する国家貿易を維持。新たに生乳換算で輸入枠13.7万トン进行ける。全量バターに換算すると5600トンほどで、今年のバター不足で緊急輸入している1万トンを下回り、影響は少ないとの見方もある。

新輸入枠はバター不足の解消につながる一方で、枠内とはいえ安いバター、脱脂粉乳の流入で、生産者が受け取る乳価の低下が起きる可能性もある。現状では道外の酪農家の高齢化などで国内の生乳生産量は減少傾向にあるが、将来的に輸入が増えたことで国内の生乳が余る可能性もゼロではない。

■その他 PEF 撤廃へ

ニュージーランドが輸入拡大を求めていたバターに食用脂を混ぜたPEF（ペフ）は、低関税で輸入する関税割当の枠は変更せず、枠内の税率を11年目までに80%削減、21年目までに撤廃する。この他細かな品目にわたって関税割当や税率の変更があり、影響は未知数だ。